

校訓：「耕魂 育命 ～生命を育て、自らの魂を耕せ～」

Izumo Agricultural High School

3年学年通信

発行日：2020. 12. 25 (金) 文責 3年学年主任 松林 宏

【コロナ禍でも3年生は頑張りました】

新型コロナウイルスが猛威を振るう中、3年生の頑張りのおかげで様々な学校行事を、無事実施することができました。

8月末に行われた体育祭は、高温多湿の中ではありませんでしたが、出雲ドームいっぱい生徒の歓声が鳴り響く大変盛り上がった体育祭となりました。また、11月に行われた農業祭では、新型コロナウイルス対応で例年と違い一般開放をしない形で、また2日目を、日程を変更し会場も市民会館に移しての開催となりましたが、**Saucy Dog**のサプライズもありこれまた例年以上の盛り上がりも感じられる農業祭となったと思います。

こうした多くの行事や定期テストと並行して、それぞれの「進路実現」に向けて、先生方や仲間と夜遅くまで真剣に取り組む姿を毎日のように目にしました。この努力が実りほとんどの生徒が進路を決定してくれました。3年学年主任としても、嬉しい限りです。

3年生の皆さんにとって、残された高校生活はあとわずかですが、1月には卒業試験も控えています。気を緩めることなく、年度当初に示した2つの目標のもう一つ、《全員そろって卒業》できますよう日々努力していきましょう。

保護者の皆様には、本校の教育活動にご理解、ご協力を賜り誠にありがとうございました。特に、体育祭や農業祭では、コロナ禍のお出掛けにくい中、またお忙しい中多くの皆様に足を運んで頂き誠にありがとうございました。お子様の高校生活もあとわずかです。我々教職員は、お子様が無事卒業の日を迎えられますまで、精一杯努めて参りたいと考えております。保護者の皆様におかれましても、引き続いてのご理解ご協力をお願い申し上げます。インフルエンザや新型コロナなど、心配な日々が続きます。どうかお体にはくれぐれもお気を付けください。

【2学期振り返り】



体育祭：開催が危ぶまれましたが、生徒の熱意と生徒指導部によるコロナ対策の徹底により無事開催することができました。



農業祭：1日目は、出雲農林高校で展示、即売など多くの保護者の方にご来場いただき、無事終わることができました。

2日目は、出雲市民会館に会場を移し、講演、出農太鼓部、吹奏楽部の発表や有志によるバラエティーに富んだ出し物、**Saucy Dog**の石原さんによるライブとトークショーがありました。



校内球技大会：12月14日（月）2学期の校内球技大会を行いました。例年は、男女バスケットボールの優勝チームが出雲地区高体連球技大会に出場しますが、コロナの影響で中止となり、校内大会のみとなりました。感染防止に努めた中での実施でしたが、大変盛り上がりました。

【見えないから見えたもの】

少し前の行事ですが、去る9月16日（木）に、人権・同和教育講演会がありました。上記のタイトルは、講演の演題の副題として掲げられたものです。講演していただいたのは、岡山県立岡山盲学校の元教頭で、現在は岡山県ライトハウスの理事長をされている、**竹内雅彦様**です。保護者の皆様も、お子様から講演内容を聞かれた方も多いのではないのでしょうか。『私の歩んだ道—見えないから見えたもの—』という演題でお話いただきました。

先生は幼少期に失明し全盲となりながら猛勉強され、盲学校の教師としてご活躍なされ退官後はモンゴルや、ネパールなどで先天性白内障等で視力を失った子供たちの手術費用をカンパで集め多くの子供たちの視力を回復させるなど、世界的に活躍されています。講演の内容は詳しく述べませんが、多くの生徒がとても感動する内容で、涙を流しながら聞き入る生徒も多くいました。

私事ですが、若いときに盲学校で勤務したことがあり、竹内先生の講演を聴きながら、思い出すことがいくつかあり皆様にもお伝えしたいと考えペンを取りました。私が担当したクラスは、知的障害のある児童もいる全盲の児童ばかりの小学部のクラスでした。目が見えないことの意味がわからずパニックを起こす子や、教員の指示を中々聞いてくれない子もいました。ですが、研ぎ澄まされた感覚は鋭く、校内の移動は、トイレであったり食堂であったりすべて一人でほとんど介助なく移動していました。あるとき、校外実習で、スケート場に行きました。私は、「目が見えないのになんて無茶な」と思いましたが、スケート場に着くとその不安は一周されました。スケート靴を履いて、リンクに降りると最初少し立つことに時間がかかりましたが、すぐに一人でゆっくりではありますが滑り出しました。彼らの潜在能力に改めて驚かされました。また音楽がとても得意で絶対音感を持っている女の子がいたり、とても面倒見が良く、明るくクラスの人気者の子もいました。

『見えないから見えたもの』という副題のように、視力を失っても好奇心旺盛であらゆることから、心の目を背けない竹内先生のような方がいる一方、我々健常者はとかく見えているのに気づかなかったり、見えないふりをしたり、見ようとしなかつたりすることが多いのではないかと思います。それが、いじめや差別につながったりするのかもしれない。卒業していく皆さんには、是非、心の目を開いて弱い立場の人や困っている人に手がさしのべられるような人になってもらいたいと思います。

【今後の予定】

1月 8日（金）始業式

1月21日（木）～1月26日（火）卒業試験

1月27日（木）～2月25日（木）個別学習期間

〈個別学習期間中の登校日…2回〉

2月 3日（水）第1回登校日 卒業研修〔消費者問題出前講座〕

2月17日（水）第2回登校日 卒業前大掃除、献血（希望者のみ）

2月26日（金）卒業式予行、耕魂会入会式

3月 1日（月）卒業式